

多項目自動血球分析装置 仕様書

1 品名及び数量

多項目自動血球分析装置 一式

2 調達物品及び構成内容

- | | | |
|-----|----------------------------------|----|
| 2-1 | シスメックス株式会社 XR-1000 本体（付属品含） | 一式 |
| 2-2 | プリンタ エプソン PX-105 | 1台 |
| 2-3 | 無停電電源装置 APC Smart-UPS 1000 以上のもの | 1台 |
| 2-4 | 搬入、据付、システム接続及び既存機器撤去 | 一式 |

3 調達物品の一般的条件

- 3-1 入札機器は、入札時点で製品化されていること。
- 3-2 入札機器のうち医療用具に関しては、入札時点で関係法令に定められている製造承認を得ていること。
- 3-3 納入する機器は、すべて未使用のものであり、設置までの間に装置の仕様変更等があった場合には、最新の仕様で引き渡すこと。

4 調達物品の特質

- 4-1 本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求条件（以下「技術的要件」という。）は別紙に示すとおりである。
- 4-2 技術的要件は、必要最小限の要件であり、これを満たさない場合には、落札決定の対象から除外する。
- 4-3 本件調達物品の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判断は、製作仕様書その他入札説明書で求める提出資料の内容を審査して行う。

5 搬入・設置場所

5-1 設置場所

- (1) 本件調達物品は、山形県立こころの医療センター診療部検査科に設置する。

5-2 搬入

- (1) 機器搬入は、協議の上、発注者が指定した日、並びに方法により行うこと。
- (2) 機器の搬入、据付、調整に際しては、これに必要な養生を行い、建物等を破損した場合には直ちに補修すること。

5-3 据付

- (1) 本件調達物品が有効に稼働するために必要な一切の作業（据付、配線、配

管、その他施工条件として示す工事を含む。) について、納入者の負担により行うこと。

- (2) 十分な耐震対策を講じること。
- (3) 既存の多項目自動血球分析装置 (シスメックス株式会社 XT1800i 他一式) については、下取りすること。
- (4) 納品・据付作業については、発注側と打ち合わせの上行うこととし、契約後速やかに発注側と協議し、詳細を決定すること。

6 機器据付後の調整、稼働準備

- 6-1 本件調達物品が有効に稼働するために必要な調整について、納入者の負担により責任を持って行うこと。
- 6-2 本件調達物品の使用に関し、関係法令上の許可を得る必要がある場合、そのために必要な資料の作成及び申請に対する協力を行うこと。
- 6-3 本件調達物品の使用する者に対し、運用及び保守に必要な知識の説明指導を図ること。
- 6-4 日本語操作マニュアルを2部以上備えること。
- 6-5 検収に必要な検査領収書を用意すること。
- 6-6 必要に応じて架台、ラック等を設置すること。

7 保守管理体制

- 7-1 検収後1年間は無償保証に応じること。
また、この間、本装置が正常に稼働するように定期的な点検を行うこと。
- 7-2 24時間連絡が取れる体制を備え、故障時には夜間休日を問わず迅速な支援体制が可能であること。
- 7-3 本件調達物品に必要な消耗品及び交換部品についての安定供給が確保されていること。
- 7-4 本件調達物品を使用している限り、必要な消耗品及び故障時の対応について責任を持つこと。

8 その他施工条件

- 8-1 本件調達物品が必要とする電源容量が、既存の電源容量を超える場合には、必要とする専用電源回路を設けること。

(別紙) 技術的要件

多項目自動血球分析装置

1 検査対象

1-1 ヒトの抗凝固剤加血液の血球分析が測定できること。

2 多項目自動血球分析装置

2-1 測定部本体

- (1) 血液計数8項目(WBC,RBC,HGB,HCT,MCV,MCH,MCHC,PLT)が測定できること。
- (2) 白血球5分類(NEUT,LYMPH,MONO,EO,BASO)の%と#が測定できること。
- (3) 血球解析6項目(RDW-SD,RDW-CV,PDW,MPV,P-LCR,PCT)および赤芽球項目(NRBC%#)が測定できること。
- (4) 低値白血球測定モードを搭載しており、低値域の白血球分類が可能であること。
- (5) NRBC混入検体においてもWBCを自動補正する機能を有し、正確な血球測定が可能であること。
- (6) サンプラ測定とマニュアル測定ができ、サンプラ測定では自動サンプラ機能を有すること。
- (7) 検体バーコードの読み取り機能を有すること。
- (8) 検体に異常が確認されたとき、サンプラ停止について設定/継続の設定ができること。
- (9) 処理能力は100検体/1時間以上の高速処理が可能であること。
- (10) スリープ機能を有し、測定終了後自動的に空圧源を停止させる機能があること。及び、復帰処理は容易であること。
- (11) 24時間運用が可能であり、なおかつ検査の効率化およびランニングコストの低減が図られること。
- (12) 日常のメンテナンスが容易であること。
- (13) ヘモグロビン測定法はSLS-Hb法であり、廃液にシアンを含まないこと。

2-2 データ処理部

- (1) 測定データの記憶が10,000検体以上できること。
- (2) 異常警報機能を有し、装置や検体の状態を監視しアラーム等で発する機能があること。
- (3) 記憶検体の処理機能を有し、測定結果に対して自動あるいは手動による編集が可能であること。

- (4) 測定登録機能を有し、患者番号に関連付けて情報を記憶・管理する機能があること。
- (5) 装置動作状況やエラー等についてオンラインで把握でき、簡単なエラーに対してはリモートで対応できること。
- (6) 精度管理機能を有し保存および出力が可能であり、オンラインにて精度管理データを管理するサポートがあること。
- (7) 測定結果や精度管理データが GP/LP プリンタ、DP プリンタにより簡単に印字できること。
- (8) 画面表示は、基本的に日本語表示であること。
- (9) 病診連携、遠隔医療、電子カルテ、部門システム等のネットワークに対応できること。
- (10) 無停電装置を装備する等、予期せぬ危機へできるだけ迅速に対応すること。